

日本新生児成育医学会 2022年度 第1回理事会 議事録

日 時：2022年2月7日（月）16：00～18：00

形 式：Web会議システム zoom を利用

出席者：早川昌弘，諫山哲哉，大曾根義輝，河井昌彦，日下 隆，河野由美，高橋尚人，長 和俊，
中西秀彦，長谷川久弥，飛弾麻里子，廣間武彦，福原里恵，細野茂春，水野克己，芳本誠司，和田和子，
和田雅樹（各理事），中村友彦，与田仁志（各監事），東海林宏道，北東 功，松本 敦（各幹事）

欠席者：茨 聡，森岡一朗（各理事）

（敬称略）

議 事：

1. 理事長報告

1) 通信理事会議決結果報告の件

議決を取ったものは5件，審議中1件，その他のお知らせ等は11件であった。

2) 年会費請求の件

2021年度会費納入は全会員2,670名中，名誉・功労会員131名を除く2,539名のうち，延べ2,482名（98%）
（2021年9月30日時点）より納入され，代議員費とあわせて31,783,000円の会費納入となった。

3) 2022年度会計途中経過報告

2021年10～12月の3か月分の会計について，事務局より報告があった。

4) 非医師入会の件

看護師，臨床工学技士の方より入会申し込みがあった。

5) 文献許諾使用料の件

メテオ社の2021年10～12月の文献使用料は合計1,452円（2021年度合計4,554円）であった。支払い金額が税込みで11,000円を超えた時点で指定口座に振り込まれることになっている。

6) The 4rd Taiwan-Korea-Japan Joint Congress on Neonatology の件

2022年3月19・20日に台湾の台中で開催予定だが，COVID-19の感染拡大のため，海外からの発表は録画データを送り，Webで参加予定である。

Travel Award 選考結果により，以下の演題発表者が決定した。

《Special Lecture》

演者：諫山哲哉先生（国立成育医療研究センター）

座長：谷口英俊先生（大阪大学大学院医学系研究科）

《English Oral Presentation》

伊藤誠人先生（秋田大学附属病院小児科）

山本和也先生（昭和大学病院小児科）

鈴木俊彦先生（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門）

北瀬悠磨先生（Johns Hopkins University）

7) 周産期医療に係る第8次医療計画に向けた勉強会の件

前理事長の中村監事に働きかけいただき，厚生労働省医政局地域医療計画課から標記勉強会への本会出席者推薦依頼が届いた。本会からは理事長が参加し，第3回の周産期勉強会（1月14日（金）10～12時）に出席した。本年度中に第4回が開催予定である。

8) 新生児における特定行為研修について

北里大学看護キャリア開発・研究センター 認定看護師教育課程新生児集中ケア分野が2021年12月14日に

閉校したため、新たに「新生児集中ケア認定看護師養成課程+特定行為研修」のコースを立ち上げることに
ついて日本新生児看護学会の内田美恵子理事長より意見を求められ、内田理事長・中村監事と共に意見交換
を行ったことを前回理事会で報告した。本件については進捗があり次第、報告をする。

9) 2022年度理事選挙スケジュールの件

2年に一度の理事選挙関連スケジュールを確認した。前回同様8月に実施する予定である。

10) 2022年度理事会開催日程について

第1回 2月7日(月) 16:00～18:00

第2回 5月9日(月) 16:00～18:00

第3回 8月1日(月) 16:00～18:00

第4回 11月7日(月) 16:00～18:00

上記を年間スケジュールとし、都合が合わない理事が多い回については日程調整を行うこととする。

11) ハーベスト社からの要請について

理事長宛にハーベスト社より機関誌「アネティス」への執筆者紹介依頼があったが、同社より依頼を取り下
げる連絡があった。

12) 岐阜県総合医療センターからの意見書作成依頼の件

岐阜県総合医療センター山本裕先生より裁判にかかる意見書の作成依頼があり、医療安全委員会 大曾根理
事のご推薦により北海道大学病院の長 和俊理事にご対応いただくこととなった。係争のみならず、他の先
生方の意見を聞きたい等があれば、学会で対応することを共有した。

13) 理事長職務報告

通信理事会の発信、内規案の作成、勉強会への出席、選挙・理事会などの年間スケジュールの策定、台湾と
のやり取りなどを行った。

2. 審議事項

第1号議案 学術集会の余剰金の件(早川理事長)

余剰金や補助金の取り扱い、欠損金の対応について議論した。学術集会における企業協賛の減少や、集会内
容の見直しなどの意見が上がり、総務委員会で意見を取りまとめ、内規案を作成し、次回理事会で再度審議
することとなった。

第2号議案 選挙管理委員選出の件(早川理事長)

選挙管理委員候補に推薦した以下3名について賛成1/2以上で承認可決された。

委員長 北島博之先生(名誉会員:大阪母子医療センター研究所免疫部門)

委員 岩見裕子先生(一般会員:大阪市立総合医療センター新生児科)

委員 山本哲史先生(一般会員:大阪大学医学部附属病院新生児科)

第3号議案 理事長選出を立候補制にすることについて(和田和子理事)

2020年の新理事予定者会議において、理事長の選出方法を立候補制にする提案があった。事前に総務委員
会で検討し、反対意見がなかったことが報告され、次回理事長選より立候補制にすることが賛成1/2以上で
承認可決された。

内規案を総務委員会で作成し、次回理事会で提出することとなった。

第4号議案 教育セミナーの現地開催とハンズオンの企業協賛について(中西理事)

第25回教育セミナーを2022年8月20日(土)～22日(月)に倉敷シーサイドホテル(岡山)で現地開催
する方針について、賛成1/2以上で承認可決された。

経費やプログラム案の報告があり、共催セミナーや、企業協賛を受けることについても審議が行われ、賛成
1/2以上で承認可決された。

第5号議案 先天性CMV感染症診療ガイドラインの作成協力依頼について(諫山理事)

日本医療研究開発機構（AMED）成育疾患克服等総合研究事業－BIRTHDAY「症候性先天性サイトメガロウイルス感染症を対象としたバルガンシクロビル治療の開発研究」班で計画中の「先天性CMV感染症診療ガイドライン」の作成に際して、本会から委員の推薦依頼があった。協力への諾否、委員推薦の選出方法を理事長に一任することが、賛成1/2以上で承認可決された。

第6号議案 ヒドロキシクロロキンの「6歳未満小児への投与」の禁忌条項削除の要望書提出について（飛弾理事）
ヒドロキシクロロキンの「6歳未満小児への投与」の禁忌条項削除の要望書提出について賛成1/2以上で承認可決された。日本小児呼吸器学会との連携に関しては検討事項とする。

3. 第66回学術集会について（長谷川会長）

2022年11月24日（木）～26日（土）、パシフィコ横浜で開催予定であり、米国・英国からの海外招聘が決まった。

4. 第67回学術集会について（細野会長）

2023年11月2日（木）～4日（土）、パシフィコ横浜で開催予定であり、これからプログラム案について募集する予定である。

5. 第68回学術集会について（中村会長 代 早川理事長）

2024年11月8日（金）～10日（日）、ホテルブエナビスタ 松本（長野）で開催予定であり、合同開催の日本新生児看護学会は11月9日（土）～10日（日）の日程である。

6. 各種委員会報告

1) 倫理委員会（福原委員長 代 早川理事長）

第66回学術集会（2022年11月）にて委員会企画シンポジウム（120分枠）と教育講演を開催することについて、長谷川会長から採択いただいた。委員会企画に向けた事例の検討を2月末までに行う予定である。

2) 広報委員会（水野委員長）

現在、学会公式アカウント・広報アカウントからTwitterを発信している。基となるホームページに学生や一般の方に向けたわかりやすい情報・解説を載せること、また、若い先生方や学生にメッセージを出すことで新生児医療を目指す人へ繋がっていくと考える。理事・代議員の先生方の協力を得て充実させていきたい。

3) 感染対策予防接種委員会（森岡委員長 代 早川理事長）

本会から公表している「新型コロナウイルス感染症に対する出生後早期の新生児への対応について」の改訂を行い、理事会の承認を得て、2021年12月8日に学会ホームページに公開した。「早産児への抗菌薬使用方針ならびに各施設の多剤耐性菌感染対策のアンケート調査」と「NICUにおけるロタウイルスワクチンの定期化への対応に関するアンケート」は、通信理事会の承認を得て、現在集計、解析中である。

4) 医療の標準化委員会（諫山委員長）

- JEBNeo（Japan Evidence Based Neonatology）は月1回、勉強会を開催している。今後の基盤となるアウトカムの重要度評価に関して、京都大学の友滝先生を中心に進めている。
- CLD班は約150名で構成され、20個のCQを作成し、各CQのリーダー・担当者がほぼ決定した。今後はPICOシートの作成、系統的レビューを予定している。
- PDA班は神奈川県立こども医療センター 豊島先生主導の下、アンケート調査、チーム分けを予定している。

5) 学会将来構想委員会（高橋委員長）

- 「日本新生児成育医学会 認定新生児成育フォローアップ医（仮称）制度」について到達目標を検討し、99項目を確定させた。また暫定認定医の要件や、正式な認定医となる過程などを決定した。2022年秋頃には制度を確定させたい。

6) 学会誌編集委員会（河井委員長 代 早川理事長）

投稿状況を確認し、投稿数が増えていないことが報告された。論文指導において、理事各位の協力をあらためて依頼した。

7) 教育委員会（中西委員長）

- 第8回医学生・研修医向けNICU入門セミナーを2022年6月18日（土）にオンライン（Zoom）で開催予定である。プログラムは、オンデマンド講義、ライブ配信講義、バーチャル施設見学、グループワーク（テーマを設けたグループディスカッション）に決定した。
- 第25回教育セミナーを2022年8月20日（土）～22日（月）に倉敷シーサイドホテル（岡山）で現地開催する方針を決定した。プログラムは、講義、少人数制講義（ハンズオン）、ワークショップ（ディベート）を予定している。
- 定期入門セミナーとして、理事長・学術委員会から昨秋に実施したWebinarのようなコンテンツを、年に数回企画・開催してほしいとの要望があり委員会内で検討を開始した。
- 第66回学術集会での教育委員会主催プログラムの企画について、これまで取り上げた臨床研究・論文執筆のほか、“教育”の観点で指導医向けのテーマなどを委員会内で検討中である。

8) 国際渉外委員会（日下委員長）

Joint Congressに推薦するTravel Awardsの運用規定について、これまで学会論文賞および学術奨励賞の受賞者、受賞候補者を対象としていたが、今後候補者選考に支障が出る可能性があり、現在、委員会での規定の変更について審議を行っている。

9) 薬事委員会（飛鷹委員長）

魚油由来静脈用脂肪乳剤（Omegaven[®]）の保険適用承認促進についての要望書を厚労省に提出した。また、本会から同剤の医師主導治験（代表研究者 東北大学小児外科 和田基先生）への要望書も提出した。

10) 総務委員会（和田和子委員長）

新理事長選出方法について今理事会で審議いただくこととしている。

11) 医療安全委員会（大曾根委員長）

第66回学術集会での教育講演の企画・開催について、長谷川会長より要請をいただいた。テーマ・講師について委員会での検討を行っている。

12) 社会保険委員会（和田雅樹委員長）

令和4年度の診療報酬改定において小児系は非常に厳しい評価であった。一方で中央社会保険医療協議会（中医協）からCLDのNICU加算の延長があがってきている。また学会から提出した出生前ハイリスク児カウンセリング加算についても中医協から評価すべきとあがってきている。ただし、現状すべて未定である。

13) 男女共同参画推進委員会（河野委員長）

特になし

14) 災害対策委員会（茨委員長）

特になし

15) 学術委員会（長谷川委員長）

特になし

16) 産科医療補償制度対応委員会（細野委員長）

特になし

17) 利益相反委員会（廣間委員長）

特になし

18) 診療委員会（芳本委員長）

特になし

19) 医療の質向上委員会（長委員長）

特になし

20) 調査研究審査委員会（高橋委員長）

特になし

21) その他報告

理事選出のクォータ制について、理事だけでなく代議員にも女性枠を設置するかどうか、定款の改定も含め、総務委員会と男女共同参画推進委員会で検討し、情報を共有していくこととした。